

神戸市総合基本計画の策定について～神戸市総合基本計画の策定方針の概要～

1 計画策定の必要性

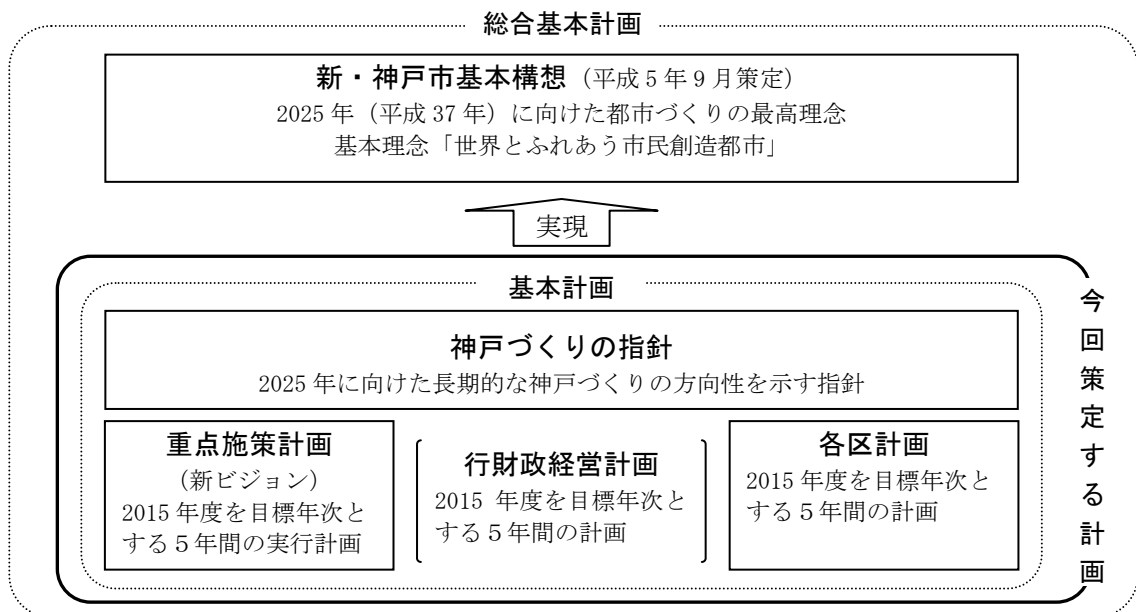
今日の社会経済情勢は、少子・超高齢化の進行、地球環境問題の顕在化など急激に変化しており、今後とも市民のくらしをまもり、都市の魅力・活力を高めていくためには、今後の社会経済情勢の変化を十分に見据えつつ、民・学・産と行政の協働と参画をより一層進めることが不可欠となっています。

この観点から、民・学・産と行政の間で、今後の神戸づくりの方向性を共有し、それぞれの役割や取り組みを明らかにするため、基本計画の策定に着手します。

2 社会経済情勢の認識

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) 少子・超高齢化の進行 | (3) 地球環境問題の顕在化 |
| (2) 社会経済のグローバル化の進行 | (4) 地方分権と税財政制度への対応 |

3 基本計画の意義・役割と構成



4 計画策定にあたって

- (1) 基本的な考え方（計画策定にあたって今後も継承・発展させるべき考え方）

① 震災・復興過程で得た経験の継承・発展

- ・ 市民のくらしの安全・安心をまもるまち
- ・ 国内外の人・物・情報・文化などが集い、交流・融合するまち
- ・ 市民の健康の増進と都市の魅力・活力の向上を結びつけるまち

② 「世界とふれあう市民創造都市」の実現に向けた戦略的な取り組みの推進

- ・ 互いに人権を尊重し合い、すべての人が持てる力を発揮し支え合うユニバーサル社会の実現
- ・ 温室効果ガスの排出量が少ない産業・生活・都市システムを備えた低炭素社会の構築
- ・ 新たな魅力と活力を創り出し、くらしの豊かさを創造するデザイン都市・神戸の推進

③ 民・学・産と行政の協働と参画のさらなる推進

(2) 神戸づくりの指針策定の方向性

① 市民一人ひとりが能力を発揮し支え合えるまちづくり

② 人と人とのつながりを活かした地域主体のまちづくり

③ 神戸らしさを活かし創造する世界都市をめざして

5 計画策定への市民参画

基本計画は、市民の参画をいただきながら策定します。具体的には、アンケートの実施や各種懇談会の開催、大学生からの政策提言の募集、また子どもたちの作文の募集などを行うほか、ホームページ等で市民の意見・提案を幅広く募ります。

※ ホームページ <http://www.city.kobe.jp/cityoffice/06/013/jikikihonkeikaku.htm>

6 計画の推進

重点施策計画・各区計画は、毎年度、計画の進捗状況を検証・評価し、その結果を踏まえて改善に取り組むというPDC Aサイクルによる進行管理を行います。

7 スケジュール（予定）

平成 21 年夏頃	神戸づくりの指針素案を公表、神戸市総合基本計画審議会を設置
平成 21 年度内	神戸市総合基本計画審議会において神戸づくりの指針案を審議 各区の区民まちづくり会議において各区計画素案を検討
平成 22 年春頃	神戸づくりの指針を確定・公表
平成 22 年度内	神戸市総合基本計画審議会において重点施策計画案及び各区計画案を審議 重点施策計画及び各区計画を確定・公表

(参考) 総合基本計画の策定経緯

	基本構想	基本計画・区別計画	中期計画
昭和 40 年 ～ 第 1 次		神戸市総合基本計画 昭和 40 年・1965 年策定 (目標年次:1995 年)	神戸市生活環境基準中期計画 ↓
昭和 49 年 ～ 第 2 次	人間都市神戸の基本構想 昭和 49 年・1974 年策定 (目標年次:2001 年)	人間都市神戸の基本計画 昭和 51 年・1976 年策定 (目標年次:2001 年)	新・神戸市生活環境基準 ↓
昭和 61 年 ～ 第 3 次		人間都市神戸の基本計画(改定) 昭和 61 年・1986 年策定 (目標年次:2001 年)	第3次神戸市生活環境基準 ↓
平成5年 ～ 第 4 次	新・神戸市基本構想 平成5年・1993 年策定 (目標年次:2025 年)	第4次神戸市基本計画 平成7年・1995 年策定 (目標年次:2010 年) 区別計画 平成8年・1996 年策定 (目標年次:2010 年)	神戸市都市環境基準 ↓
			新・都市環境基準 ↓
			神戸 2010 ビジョン 平成 17 年・2005 年策定 (目標年次:2010 年) 区中期計画 平成 17 年・2005 年策定 (目標年次:2010 年)